

i-Construction大賞 受賞取組 概要 (地方公共団体等の取組部門)

13. ICT普及促進と3次元データ活用の取組

推薦整備局等	中部地方整備局
地方公共団体名	静岡県
取組主体	ふじのくにi-Construction推進支援協議会 (静岡県ほか市町・業界団体等)



- ・ICTの理解促進、新技術の情報交換
- ・人材育成
- ・専門家による指導、関係者のコラボレーション

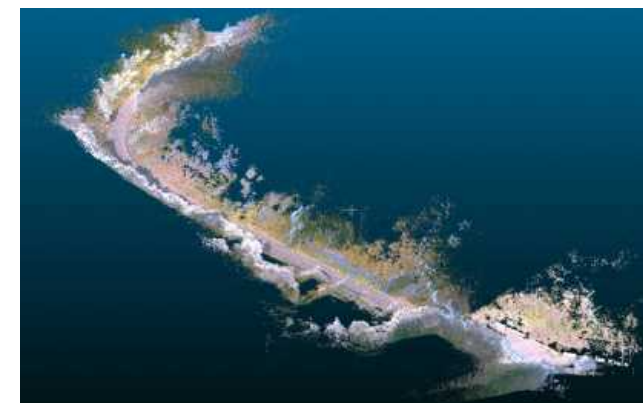
ICTや新技術の導入を促進



ICT利活用セミナー



3次元データ保管管理システム
<https://pointcloud.pref.shizuoka.jp/>



3次元点群データを収集・利活用

【取組概要】

ICT活用工事の普及促進を図るため、中小規模の現場の実情に即した現場支援、個別課題への対応を行っている。

国土交通省、県、市町、各業界団体、（一社）日本建設機械施工協会、建設ICT関連メーカー、ソフトウェアベンダーなど関係者総がかりで支援を行い、活動を通して得られた知見を県のICT活用工事の運用に反映している。

静岡県では、完成時に3次元測量を実施し、ICT活用工事の推進とあわせて、3次元点群データの収集・利活用を積極的に進めている。

- ICT活用工事の導入支援を行うための組織として全国に先駆けて発足。
- 活動を通して抽出された課題とその対応を踏まえて、中小建設業者がICTを円滑に導入するための独自のガイドラインや普及啓発制度を県が策定。
- ICT活用工事などで得られた3次元点群データを収集・登録するとともに、オープンデータとしてダウンロードできる全国初のサイトとして3次元データ保管管理システム（PCDB）を開設。さらに自動運転に点群データの利活用する取り組みを推進するなど、先進的な取り組みを推進。

14. 産官連携による建設ICT総合研修拠点の形成

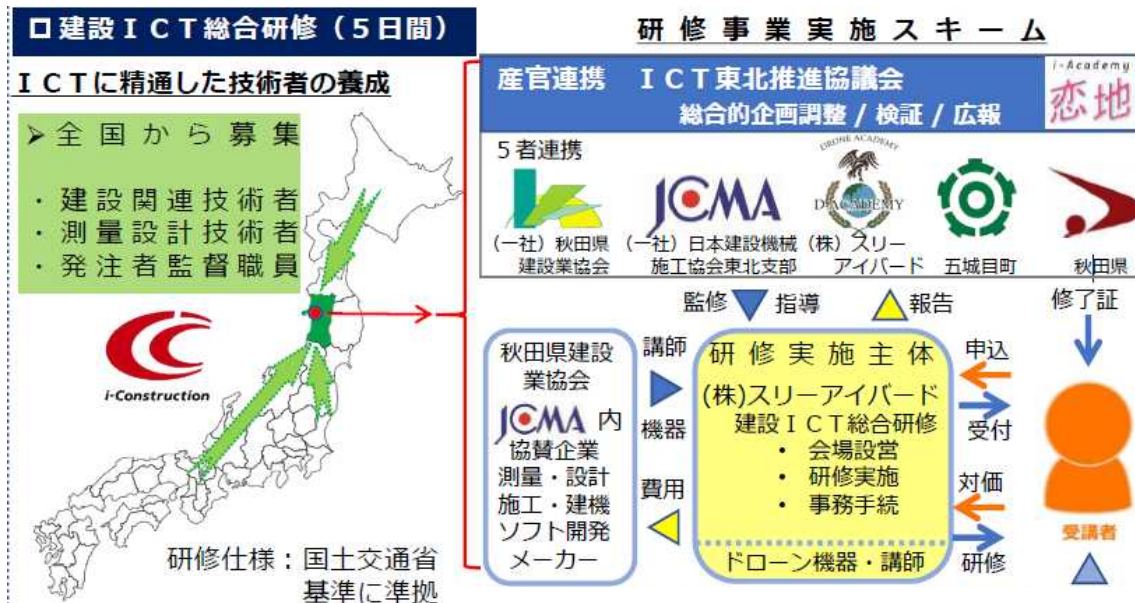
推薦整備局等	東北地方整備局
地方公共団体名	秋田県、五城目町
取組主体	ICT東北推進協議会

【取組概要】

民間と行政が連携して「ICT東北推進協議会」を設立し、建設ICTに関する以下の事業を実施している。

- ① 建設ICTの活用に関する研修会及び講習会の実施
- ② 建設ICTに関する情報の収集、発信、普及及び啓発
- ③ 建設ICTに関する調査研究

民間は研修カリキュラムの作成や研修拠点の運営、研修の実施を担当し、行政は研修施設の提供や整備、産官連携ネットワークの構築と広報、地域住民への周知等を担っている。



- ICT施工の一連の工程に沿った研修を提供し、個別工程ごとに受講する方法に比べて、実践的な習得が可能に。
- 県内の建設ICT人材の育成に寄与するとともに、広く県外からも受講者を受け入れ、広域的なICT人材の育成に貢献。
- 民間のノウハウと行政の施設やネットワークの有効活用により形成された座学とフィールド実習を通じた研修拠点は、全国的にも先進的な取組。
- 女性限定のICT総合研修を開催するなど、ICT活用を通じた建設産業の女性活躍推進に寄与。
- 県内にとどまらず、県外からも受講者が集まるほか、学生向け研修会や子ども・保護者向けイベントを実施し、ICT活用の進む建設産業の魅力発信を通じて担い手の確保に寄与。

15. 独自発注方式:チャレンジいばらき I・II型

推薦整備局等	関東地方整備局
地方公共団体名	茨城県
取組主体	茨城県

【取組概要】

地元の建設産業の中で、3次元測量・設計データ作成を実施できる体制を整えるため、一般的に実施されている発注者指定型、受注者希望型に加え、チャレンジいばらき I 型、チャレンジいばらき II 型という茨城県独自の発注方式を導入し、地元の測量・建設コンサルタントとの協業や、建設業者による内製化を図った。



- 中小建設業者が ICT 施工を導入していく上での最も大きな課題は、3次元データの取扱いである。その課題解決に向けた独自の取り組みとして、測量・建設コンサルタント業者との協業の促進や3次元データの内製化を図るため、仕様に独自の工夫を加えた発注方式（チャレンジいばらき I 型、チャレンジいばらき II 型）を創設。
- 地元の建設産業界に対し、3次元データを軸とした生産性向上に取り組む必要があることを意識付けることができ、その結果、3次元データ作成に自ら取組み始める者が先駆者として表れつつあることや、7県・1政令市から訪問等による問い合わせがあり他自治体へと取組が波及している。